

1. 内外政

▼大統領の動き

- ・7日、ポロシェンコ大統領は、タリアヴィーニOSCE特別代表と会談し、9日の停戦に合意すべく、3者コンタクト・グループ会合が可及的速やかに実施されねばならない旨強調。
- ・9、10日、ポロシェンコ大統領は、シンガポールを訪問し、トニー・タン大統領及びリー・シェンロン首相と会談、また汚職調査庁を訪問し、汚職撲滅に関し議論。
- ・10、11日、ポロシェンコ大統領は、オーストラリアを訪問し、アボット豪首相と会談。ポロシェンコ大統領は、記者会見において、ロシアに対し、ウクライナ領からロシア軍を撤退し、国境を(武器や兵等の流入から)閉鎖するよう呼びかけ。オーストラリアはIMF支援の枠組みにおける1億ドルの供与及び200万ドル以上の軍事技術支援を決定。また、両首脳は、ウラン及び石炭の供給を議論。

▼最高会議・政府の動き

- ・10日、ステーツ情報政策相は、同省の大臣室はドネツク州スロヴヤンスク市に設置される予定である旨発言。
- ・11日、最高会議は、ロシア国家院及びプーチン露大統領に対し、ロシア国内において違法収監されているサウチェンコ最高会議議員(パチキフシチナ(祖国)党、元飛行士)及びセンツォーフ映画監督を含む、ウクライナ人捕虜を解放するよう呼びかける決議を採択。
- ・12日、ペトレンコ司法相、ソボレフ最高会議議員(自助党、人員刷新法共同執筆者)、イエメーツ最高会議議員(人民戦線党)等は、ベニス委員会の会合に出席。ベニス委員会は、同会合において、人員刷新法に対する暫定評価を発表。イエメーツ議員は、ウクライナ代表团による同法採択の背景等の説明により、ベニス委員会は同法に対する意見を大きく変え、同評価から否定的要素の多くを取り下げた旨発言。

▼ドネツク・ルハンスク両州占領地域情勢

- ・9日までは、依然武装集団からの停戦違反が続き、死傷者が発生。9日、新たな停戦体制「静寂」実施が発表され、武装集団側による攻撃件数・集中度が低減されるも、完全な停戦には至らず。ロシア領からの軍事車列の侵入が継続。
- ・6日、ポロシェンコ大統領は、ドネツク空港を防衛する兵及びボランティアに従事する市民と会談し、兵に報償を手交、また外国人兵1名にウクライナ国籍を授与。
- ・10日、三者コンタクト・グループは、同グループのウクライナ・ロシア・OSCE各代表は昨9日に会合を開いた旨発表ものの、武装集団が会合に出席せず、停戦に関する議論を避けたことに懸念を表明、また停戦、捕虜解放及び国境管理等のミンスク合意の全ての項目の履行及び静寂体制の重要性を強調する旨の共同声明を发出。

- ・10日、クチマ元大統領は、記者会見において、片方が停戦体制を維持していない条件下で、ミンスクにおいて会合を開催することは不適切であり、武装集団が完全な停戦を実現させた後に会合を開くべき旨発言。

▼その他

- ・9日、ナザレンコ国境警備庁長官は、クリミア「併合」時からロシア軍による違法占領が続いていたヘルソン州アラバト砂州、チョンハル半島及びアード半島からロシア軍が撤退している旨発言。
- ・9日、ウクルトランスガス社は、ロシアからの天然ガスを受け取り始めた、毎日最大4,350万立方メートルのガスを輸入する旨発表。
- ・9日、日本政府は、資産凍結等の制裁対象となるウクライナ東部の個人及び団体のリストを拡大。

2. 経済

▼経済全般

- ・8日、ウクルアウトプロムは、11月の国内自動車生産は597台であり、前月比▲60%、前年同月比では約10分の1となった旨公表(うち乗用車は375台で前月比▲67%)
- ・9日、閣僚会議は、2015-2016内閣行動計画を採択。同計画の目的はEU加盟にできる限り近づくことであり、内容は国防や司法を含む改革の実行、国有財産の変更、税制改革等。
- ・10日、国家統計局は、2014年第3四半期のGDPの速報値▲5.1%を▲5.3%に下方修正。
- ・10日、閣僚会議は、2014年のGDPを▲7%、財政赤字をGDPの5%、ナフトガス赤字を1,100億フリヴニャと予測。

▼財政・金融

- ・6日、国家統計局は、11月のインフレ率が前月から1.9%ポイント上昇し、年初比+21.1%となった旨発表。
- ・8日、最高会議広報担当は、2015年の予算法案を12月26日までに成立させる必要がある旨発言。
- ・8日、ホンダレヴァ中央銀行総裁は、組閣が終了してもウクライナの金融市場に改善が見られない、主要銀行は交換レートに16フリヴニャ/\$に維持するよう発言。また、中銀は、11月の銀行預金流出額が33億フリヴニャとなった旨公表。

▼経済改革・支援

- ・9日、ヤツェニューク首相は、閣僚会議が、全ての種類のエネルギー料金を経済合理性のあるレベルに引き上げることを目指す一方、利益と社会的弱者に対する補助は維持する、電気料金やガス料金を公正な市場価格としない限り、国家財政赤字よりも巨額なナフトガスの赤字が解消されない旨発言。

・11日、ヤツェニューク首相は、ウクライナはデフォルトを避けるために国際ドナー会議の開催、ウクライナ回復計画の採択及び西側諸国の支援が必要である旨発言。

・12日、EBRDによれば、EBRDはウクライナのガス輸送システムの再建設に1億5,000万ユーロを充て、署名は15日に予定。EIBはすでに1億5,000万ユーロの支出を決め、12月1日に署名。

▼IMFの動き

・8日、IMFは、IMFミッションがウクライナを12月9～18日の日程で訪問する旨発表。

・10日、IMFは、ウクライナは2015年の金融崩壊を避けるため、約150億ドルが追加で必要となると試算。

・10日、アブロマヴィチユス経済発展・貿易大臣は、IMFに対し、追加でいくら必要になるかを示すのは時期尚早だが、現在の2016年までに総額170億ドルを予定している支援額を拡大して欲しい旨発言。

・12日、IMFは、国際社会に対し、ウクライナへの財政追加支援を要請。IMF広報副担当は、ウクライナの財政支援は急を要するもので支援国に対し、財政支援の提供準備を呼びかけ。

▼エネルギー

・6日、デムチシン・エネルギー・石炭産業大臣は、ロシアからのウクライナ向け石炭輸出が2週間ぶりに再開された旨発言。

・7日、閣僚会議は、停電を避けるため、一時的にロシアから電力を輸入するというエネルギー・石炭産業省からの提案を了承。

・11日、アボット・オーストラリア首相は、ポロシェンコ大統領と会談し、石炭及びウランの輸出について協議。ポロシェンコ大統領は石炭及びウランの輸入に関心を示す文書に署名。

▼農業関連

・8日、国営貿易情報分析企業(Derzhzovnishinform)の農業輸出部門は、12月2日現在、ウクライナは前年比10%以上となる1,585万トンの穀物を輸出した旨公表(主要輸出先はサウジアラビア、エジプト、スペイン、イラン、トルコ)。

3. 防衛

▼露「人道支援車列」の侵入

・9日、外務省は、露外務省から12日に「人道支援車列」を派遣する通知を受け取った旨発表。車列は120台以上であり、第9回目となる。

・11日、露非常事態省は、「人道支援車列」は国境を越える準備ができています旨発表。食糧等1,200トンを積載。

・12日、RNBO報道官は、イズヴァリネ及びウスペンカ両国境検問地点を通じて、ロシアからの「人道支援車列」と称する141台の車両が進入、物資に関する書類はなく、ウクライナ

の国境警備隊職員及び税関職員は物資の検査を許されなかった旨発言。

▼再停戦「沈黙の日」

・6日、ポロシェンコ大統領は、9日にミンスクにおいてウクライナ・露・OSCE代表による会合を開催することで合意が得られ、同日を「静寂の日」にしなければならない旨発言。

・9日、RNBO報道官は、「静寂の日」は一日継続される旨発言。

・9日、反テロ作戦広報室は、「静寂の日」にも係わらずドネツク及びビルハンスクにおいてテロリストによる攻撃を14回確認、民間人7人が負傷、またマリウポリにおいて無人機による偵察活動が7回あった旨発表。

・11日、RNBO報道官は、テロリストは停戦を守っておらず、最近24時間で22回の攻撃があり3人死亡、8人が負傷した旨発表。また12日、反テロ作戦広報室は、武装集団は停戦違反を繰り返しており、最近24時間で6回の攻撃があった旨発表。

・12日、RNBO報道官は、ドンバスでは徐々に静寂が確立されつつある旨発言。

▼その他

・7日、露人権活動家は、露国防省の客月30の報告書には、ドネツク空港の戦闘による露軍兵士の人的損害について299人死亡、190人負傷、171人不明とする記載がある旨発言。

・8日、ポルトラク国防相は、ニコルソン加国防相と会談、ウクライナの国防力及び軍を強化するための協力を継続する文書に署名。

・8日、ビリュコフ国防相顧問は、ミンスク合意以降ウクライナ軍は精強になっている、ウクライナ・露・OSCEの三者会合を9日に予定しているが「LPR」及び「DPR」は12日への先延ばしを主張している旨発言。

・9日、ヤツェニューク首相は、国家の安全保障及び防衛のため少なくともGDP5%の予算が必要、ウクライナの非ブロック政策は廃止すべき、またNATO標準を満たすべきである旨発言。

・11日、参謀本部は、10日にウクライナ東部において露軍諜報部隊を撃退した旨発表。

・12日、ポルトラク国防相は、来年の国防予算は500億フリヴニャを要求(今年は260億フリヴニャ)、昨年13万人(現在23万2,000人)であった軍の規模を来年は25万人にし、ウクライナ東部のみならず南部及び沿ドニエストルとの境界を増強する必要がある旨発言。

(了)